

おかしな世界

<http://www.okajoki.com/>

D511  
N.W. 551

2025

12

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 10 月例句会	19
十和田たてがみ川柳会 9 月句会報	25
チャッピーの人間観察録「待 AI 室」	25
Infomation	28 ～

## 月刊おかじょうきを

## ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2 月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

## 【方法①】PC とプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すれば OK です。

## 【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することが出来ます。



## 【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することが出来ます。



## 【コンビニでのプリント参考価格】

A3 モノクロ 1 ページ：約 20 円／ A3 カラー 1 ページ：約 100 円  
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

## 無人駅抄

# カンテラ

むせし

今年は、万国博覧会の年でした。そして、クマの年でした。

来年は、午年。しかも、ひのえうま丙午です。

丙午の年は、強い火の気を帯びており、情熱や変化がテーマとなる年とされています。

みなさま、どうぞ良いお年を！

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

### A 群

街に来る熊には熊の訳がある

村上あつこ

研がなきや老いる包丁と私と  
たぶんいい 枯れてる花野見ること  
いつもの道へいつもの靴を履いて行く  
ミユのとどこかぬとこで語る夢  
突っ立っているだけで良かった大ケヤキ  
真四角に生きてまあるい夢を見る  
涙壺が満杯 突堤に行く  
語りたい事はあっても無文土器  
踏まれたままの傷跡がザンザンザ  
有り体に言えばその嘘話んです  
体内に球根ひとつ冬籠り

吉田州花  
斎藤泰子  
辻井洋子  
柳本恵子  
土田雅子  
守田啓子  
亥の一  
戎 踊兵  
田中 薫  
峯島 妙  
吉見恵子

吉見恵子さん、この句の「球根」は「体内」のどこ

にあるのでしょうか？胸のあたりかな？お腹かな？それとも頭の中かな？冬、おかしようにき川柳社の仲間は恵子さんに会々と「この人の中で球根がひとつ冬籠りしているんだ」と思うはずで。ところで、何の球根なのでしょう。

### B 群

さよならは上手に出来るレモンティー  
生き恥は海に捨てたわサラサーテ  
一匹狼です 水があふれた  
わたくしの一部始終が砂利になる  
何処までも行こう嘘つきの顔して  
真夜中のポスト大きなあくびする  
たんす預金グルマップに引っかかる  
画数がゼロになるまで起きている  
ここからはオマケ煮崩れて生きよう  
聞かれれば塩味だった分岐点  
言い訳が身につくまでの背負い投げ

一 帆  
まきこ  
鳴海賢治  
芝岡かんえもん  
須藤しのすけ  
夏草ふぶき  
小野五郎  
安藤なみ  
きこぎ彼句吾  
熊谷冬鼓  
米山明日歌

米山明日歌さんは「背負い投げ」が得意ではないように思います。だって、「言い訳」なんかしうにないひとだもの。にしても、「言い訳」と「背負い投げ」にこんな関係あったとは驚きです。

### C 群

肉球が鳴くと罪人めいてくる  
生乾きパジャマ破船の夢をみる  
虹色のヘドを盥で受けとめる  
音の絵の中で息切れしてしまっ  
自首しなよあなたは咲いているんだよ  
nesさん、「肉球」って『にく・きゅう【肉球】ネコ目などの動物の足裏にある、丸く盛り上がった無毛の部分。』（広辞苑第七版）ですよ。ウイキペディアには「獲物に接近する際に気付かれないように足音を消す働きがある。また、歩行時や樹上などから飛び降りる際の衝撃を緩和する役目もある。ネコの手根

nes  
宮井いずみ  
嵯峨山登  
葉 閑女  
尾崎良仁



球（しゅこんきゅう）の上部には2〜3本の毛が生えており、歩行時に触覚器としての役割をこなす。」とありました。で、この「肉球」、あの熊にもあります。この句を読んで「nesさんは熊族かもしれない」となぜか思ったのでした（汗）

宮井いずみさん、この「夢」は「睡眠中に持つ幻覚」（広辞苑第七版）のことで、「将来実現したい願ひ。理想」（広辞苑第七版）ではないですよ（笑）「破船」は、難破した船のこと。で、この句の「生乾きパジャマ」はいずみさんのこと、と読んでいいでしょうか。自分が「生乾きパジャマ」って、おもしろいですね。ところで、自分が難破する夢って恐くないですか？

嵯峨山登さん、この句の「虹色のヘド」の「ヘド」は「飲食したものを吐きもどすこと。また、その吐いた汚物」のことですよ。これ、自分で吐いたモノですか？私は、そうではなく、誰かの吐いたモノで、それを山登さんが「盥で受けとめる」と読みました。「虹色」をしていますが「ヘド」は「ヘド」です。勇気がないできませんね。咄嗟のことだったと思いますが、

「盥」をどこから出したのですか？（笑）

葉閑女さん、「音の絵」ってどこで見つけたのですか。私は80年近くこの世で生きていますが、まだ見たことがあります。あれ？「音の絵」って、もしかしたら見るものじゃなく聞くものかな？たぶんそうだね。「交響曲は巨大な絵だ」と思えばいいのかも。違うかな…。

尾崎良仁さん、あの…、人間が咲くって自首しなればいけない程大変なことなのですか？「自首」は、『じ・しゅ【自首】「法」(首)は述べる意)犯罪事実・犯人の発覚前に、犯人自ら捜査機関に対して犯罪事実を申告し、その処分を求めること。一般に刑の減軽の事由となる。俗に、犯罪が発覚した後、犯人が捜査機関に出頭することにもいう。自訴。』（広辞苑第七版）ですよ。で、「咲く」ですが、広辞苑を引くと最初に「咲」は「わらう」の意。漢詩「鳥鳴花咲」を「咲（さ）く」と読み慣わしたことから生じた訓」とあるのですが、この句の「咲く」は「わらう」じゃないですよ（笑）

おかじようき加柳社会員雑誌集

# 無人駅

★無人駅年度賞

次の雷を次の男と待つ

米山明日歌

★無人駅11月月間賞

#赤とんぼで君を探している

柳本恵子

帆【いちほ・秋田県秋田市】

さよならは上手に出来るレモンティー  
ファの音を外して愛される  
宿命とここで見送る交差点  
目力の隅にちゃっかりラブホテル  
抱きしめて振り分けられて受精卵

先月号の  
お気に入り

亥の一【いのいち・青森県青森市】

涙壺が満杯 突堤に行く  
乳色の海原 街へ帰ろう  
龍の鱗片突堤で拾った  
燐寸擦る戦後の峠の風の中  
思い出の小裂の引き出し空にする

先月号の  
お気に入り

こっちに投げてわたしの欲しい浮き袋 芝岡かんえもん  
緊急事態ですよ、大丈夫ですか？

尾崎良仁【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

自首しなよあなたは咲いているんだよ  
人間の交尾の騒々しいことよ  
きみと揺れる揺れる揺れる 犯罪者  
ハローハロー次々殺め生きていく  
笑うかい火を飲んできた太鼓腹

先月号の  
お気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

涅槃図の竹林奥に一等地  
金色堂闇から生まれる冬銀河  
開かずの踏切木枯らしが立ち止まる  
押入れからブラックホールが見つかった  
たんす預金グーグルマップに引かかる

先月号の  
お気に入り

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

時々横にも首を振るススキ  
語りたい事はあつても無文土器  
揮発した朝がうつかり夕焼ける  
良く笑う猫が鏡の奥に居る  
精鋭に成ってしまった葦の花

先月号の  
お気に入り

いい空だわたしを飾ることもない 斎藤泰子  
雲は湧き、光溢れて、、、眼は澄んでいたよね

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

スピーカー入れて余裕の予定表  
正論が波の谷間に揺れている  
方舟が嗤うデジタルアナログ派  
束の間の心がゆるる赤い爪  
ゆつたりと喜寿を迎える木偶の坊

先月号の  
お気に入り

風向きが変わった 木の葉裏返る 戎踊兵  
今日から…明日からどうする…

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

秋ついで明治昭和も此処におる  
秋風や釈迦はやっぱりクシャトリヤ  
黒い霧すこし払って刈田風  
流星に君を祈った小さい秋  
風だけが連んでくれる秋の道

先月号の  
お気に入り

見守られてたぼつねん 盆の朝夢 四ツ屋いずみ  
ひしひしと感じますね。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

振り向いてくれたとしても拾い読み  
ここからはオマケ煮崩れて生きよう  
火中の栗なのかだあれも振り向かぬ  
迷走を楽しめるならもう大人  
いろはにほへと費やしたって壁の花

先月号の  
お気に入り

火が移る距離を測っているところ 斎藤泰子  
移したいのか移されたいのか…私なら移されたい…かな

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

頷いて月の角度の柔らかさ  
多分きつと擦り傷だろう傘に雪  
聞かれれば塩味だった分岐点  
つくづくと薄情でした悪しからず  
我ながら折り返しても人見知り

先月号のお気に入り  
死んだふり生きているふりイトミミズ 鳴海賢治  
ふりして生きてるかもなあと妙に納得。

小松憲一【こまつけんいち・茨城県常陸大宮市】

寒風と日向ぼつこの吊るし柿  
晩秋の雨の寄り道温泉と  
深呼吸初冠雪の蝦夷富士よ  
皮膚科まで往復歩き八千歩  
光明は悪人正機蜘蛛の糸

先月号のお気に入り  
バリアフリー軽い言葉にだまされて まみどり  
ここから始まる五行詩、このリズム盗ませてください。

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

ふた親を視えぬ刀で切りつけた  
虹色のヘドを鹽で受けとめる  
満月で凶暴化したウサギたち  
わたくしを見ても逃げない猫と逢う  
図書館をつらぬいている八咫鳥

先月号のお気に入り  
暴言と無関心って瓜二つ 夏草ふぶき  
真実に関心はないのです。自分は正しいと思いたいだけ  
なのです。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

破門され猛省するもやがて冬  
卵かけごはんたつぷり持ち時間  
のつぺりと熊の鼻先ガラス越し  
終活を秋の長雨先延ばし  
石焼き芋カフカの虫も焼きますか

先月号のお気に入り  
人間を三人産んだその誇り 斎藤泰子  
私は人間を四人産ませましたが、ほこりだけです。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

喪があける蝶々も母もいなくなる  
たぶんいい 枯れてる花野見ることも  
知らないが秋の日傘も楽しそう  
憑き物がついてるらしい忙しい  
七十代宴もたけなわですけれど

先月号のお気に入り  
暴言と無関心って瓜二つ 夏草ふぶき  
本当に、本当に、そう思います。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

弱音など吐かぬと捨てる内視鏡  
多すぎる味つけこの世まなならず  
今日少し捻子をゆるめて大の字に  
子や孫に残してやろう知恵袋  
喰ってけるサンマが俺を追いかける

先月号のお気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜】

人証しあつという間の蝶結び  
我慢するなら ずっといい娘でいてあげる  
わたくしの一部始終が砂利になる  
黄昏は寿命の匂い嗅いでいる  
ほどほどに枯れてわたしのヴィンテージ

先月号のお気に入り  
生きるって一人線香花火だね 一帆  
その通り！パチパチいつてそのうちしゅんとなる。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

幸せな人から届く悩み事  
親友の不幸話を聞いてやり  
笑っちゃうね自分だけ不幸だなんて  
仏壇の鐘を鳴らして朝が来る  
そちらでは幸せですかお母さん

先月号のお気に入り  
入道雲免許返納やめました 柳本恵子  
そうですよ。私も80までは返納しない。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

さようならまたね終わってしまいう夏  
何処までも行こう嘘つきの顔して  
回文の上半分は本音です  
五線譜に挟んだままの反抗期  
相方は魔法使いで遅刻魔で

先月号のお気に入り  
水玉の玉の歪んでみえる夜 米山明日歌  
可愛い水玉には魔除けの力がある。歪みは少し気になるが、その怖さや危うさが人を惹きつけるのだ。

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

アンダーパスの湿り気も糸瓜もない  
思い出した 迷子の時に見た空だ  
南無阿弥陀仏にもレモンをかける派です  
水槽の壊れたポンプのような ぶくつ  
香典返しをシャングリラにぶら下げる

先月号のお気に入り  
鹿屠る話くちびるなぞる指 宮井いずみ  
弱肉強食と生殖本能の動物的なエロさが滲み出てますね。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

いつもの道へいつもの靴を履いて行く  
描けるかなと輝く月に挑まれる  
押し寄せる絵の中泳ぐ展覧会  
ちよつとした自伝なんです古手帳  
丸い背は母の遺伝子鏡みる

先月号のお気に入り  
夢もまた引き算だらけ高齢期 村上あつこ  
そうですね、同感です。

土田雅子【ちただまこ・青森県青森市】

突っ立っているだけで良かった大ケヤキ  
大地にはなれず許せぬままである  
無我夢中 五里霧中 落とし穴  
真昼野の隅で人参めく時間  
おゆきなさい大海原を掻き分けて

先月号のお気に入り

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

カラータイマー点滅してる倫理観  
鏡には映らぬ心また探す  
不満など言えぬ立場の蟻の列  
思いやる心にあったおもいやり  
辛いのはアナタだけではありません

先月号のお気に入り  
こっちに投げてわたしの欲しい浮き袋 芝岡かんえもん  
浮き袋がタイミングよく、なかなか上手い具合に良いところへ飛んでこない。人生ってそんなものかも…

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

無重力なんてステキなところなの  
サワサワと秋風にのる胸踊る  
投げやりなカエル飛び込む勇氣も無い  
2で割ろうとするから秋消えていく  
踏まれたままの傷跡がザンザンザ

先月号のお気に入り  
いい空だわたしを飾ることもない 斎藤泰子  
いまの空かなー。秋の空。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

両足をぶらつかせ詠む辞世の句  
炎にはならない嘘だ目を瞞る  
もう少し振れば身軽になれるのに  
藍染に浸って夏をやり過ぎす  
真夜中のポスト大きなあくびする

先月号のお気に入り  
股関節勝手に踊り出しました 高木まあこ  
そんな股関節をお持ちでしたか。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

一匹狼です 水があふれた  
いずれひとりになるかこわいことです  
人生をば語らず吉田拓郎  
すんなりといったためしがない野花  
ふくよかな味だ山また山で

先月号のお気に入り  
言わないことが花だと知った夜でした。 まきこ  
目に留まり、心が引かれました。



nes【ねす・兵庫県神戸市】

肉球が鳴くと罪人めいてくる  
ifを編みたくて蚯蚓は地を這って  
東西南北どこを見ても双子  
細長い嘲笑に吸い込まれるな  
血溜まりのずうつと終わらない再読

先月号のお気に入り  
濡れている尻尾 本当がばれる 一帆  
「本当がばれる」って何でしょう。真実が解る、とかでは  
ないところが想像を掻き立てられて好きでした。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

同じ本三回買つても気がつかず  
政治家の信義絵踏みで観てみたい  
「たまるか」に「わいは」と返す津軽人  
転職で運命線が薄くなる  
ウクライナあすは我が身ぞ目を覚ませ

先月号のお気に入り  
戦前でないこと祈る終戦日 村上あつこ  
ウクライナの次に狙われるのは日本かもしれません。そ  
うならないよう私も祈ります。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

伝説になるにはちようどいい黄ばみ  
モノクロの夕陽で力抜いてくる  
陽性反応フェイクに違いない  
昨日より少し水色らしくなる  
雌猫の瞳に魔法かけられる

先月号のお気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

迷ったらあっち向いてホイと猫じやらし  
噴水の向こうに秋のひよつこりはん  
有り体に言えばその嘘話んです  
道草は商店街のたこ焼き屋  
夕間暮れ焦がし醤油にくるまれる

先月号のお気に入り  
数独なんてちゃちゃと解いて空泳ぐ きささき彼句吾  
やらないといけないことに数独遊びって、とても可愛い  
ですね。颯爽と空を泳いでください。

まきい【まきい・青森県青森市】

食って笑っておしゃべりし合う股関節  
生き恥は海に捨てたわサラサーテ  
生返事はお得意ですよいかがか  
今日からは一年生になるつもり  
ふれあいのつもりがお邪魔だったのね

先月号のお気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

ギリギリのどこで折り合いつけようか  
浮いた歯の落ち着き場所を探すよに  
あいまいな症状並べ立てながら  
当面は行方不明という気力  
存分に揺れたら見えてくるあした

先月号のお気に入り  
わたくしを説教しだす骨の音 米山明日歌  
それはポキポキじゃなくて軋む音ですね、きつと。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

アオザイは鬱金の花のファルセット  
惚れっぽい自転車忽然と消えた  
「きつと今だ」は甘みそだれで戴くわ  
それぞれの自分のかたち唐辛子  
生乾きパジャマ破船の夢をみる

先月号のお気に入り  
甘雨に紛れ出たおいで懐かしい影 四ツ屋いずみ  
昨年22歳で死んだ猫のロスからまだ立ち直れない。影で  
いいから出てきてほしい。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

全没は休み過ぎよという薬  
不出来でもブスでも天寿全うよ  
殺人に執行猶予あり得ない  
大切な人の半分蓮の会  
親展で送る尊敬する想い

先月号のお気に入り



村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

散歩中熊の親子と鉢合わせ  
我が物顔で道路横切る熊2頭  
熊だつて学習してる生きるため  
街に来る熊には熊の訳がある  
猿も熊も住んでいるんだこの町に

先月号の  
お気に入り

人生を語るながいかみじかい  
難しいですね。長いようでもあるし、短い気もするし……

鳴海賢治

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

蕎麦するそれが平和というものだ  
私より若い亡父から手紙来る  
真四角に生きてまあるい夢を見る  
雪雲も老化もふいにやって来る  
ペコちゃんは脱脂粉乳でできている

先月号の  
お気に入り

ここいらで私の手から飛ぶわたし  
はばたきましよう、ちよつと切ないけど。

まきこ

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

指切りげんまんザクロは秘密守ります  
一身上の都合で埋める隙間あり  
十文字結びで捨てたキオクのキ  
Wi-Fiのとどこかぬところで語る夢  
冬近しくちどけばかり良いチョコで

先月号の  
お気に入り

やりたいことリストにアレも追加する  
アレってアレですね。

守田啓子

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

年末は第九と決めたのは誰だ  
モズが鳴く胸の振り子は知らんぷり  
音の絵の中で息切れしてしまう  
お手玉に噛みついてる馬と鹿  
占いを信じたくなる十二月

先月号の  
お気に入り

毎日が猫の舌より気持ちいい  
えつ、どういふこと。よくわかんないけど面白い。

尾崎良仁

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

コルセット装着エイヤットかぼちや  
カメラつて残酷露わになる傘寿  
逢いたい人ひとり句会へ選ぶ帯  
男東ねる男の許へ急ぐ  
研がなきや老いる包丁と私と

先月号の  
お気に入り

デキトーで下品で困ったひとが好き  
恋人ならばね！

須藤しんのすけ

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

元カレと囁くじやなかった未来  
見送るわプテラノドン似の彼の背  
マンモスの偉大、イノセント、尊さ  
赤錆びた共通項でもくれたんだ  
半分を哀愁で埋め強くなる

先月号の  
お気に入り

眠ったらダメを繰り返して眠る  
昔、物理の授業でまさにそれでした。

安藤なみ

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

黒ぶどう一粒ごとに秋の夜  
杜鵑草この世は生きる人のため  
一瞬のつむじ風舞うティスプーン  
スタンプラリー繋いでつないで白鳥座  
体内に球根ひとつ冬籠り

先月号の  
お気に入り

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

どこにでもあることなのという秘密  
肝心なところで消えた雨の音  
言い訳が身につくまでの背負い投げ  
目を覚ます逆毛を立てた秋あたり  
清書はちゃんと緑になってから

先月号の  
お気に入り

じいさんの貌でじいさんやっている  
じいさんの貌ではあさんやっている人知ってます。ヒン  
ト国玉。

むさし

# 引き返すための

11月1日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

## ▼出席者(14名)

S i n・高木まあこ・熊谷冬鼓・葉閑女・きさらぎ彼句吾・  
野沢省悟・まきこ・須藤しんのすけ・小野五郎・渡邊こあき・  
笹田隆志・夏草ふぶき・むさし・守田啓子

## ▼投句者(22名)

nes・安藤なみ・柳本恵子・芝岡かんえもん・米山明日歌・  
土田雅子・小松憲一・村上あつこ・宮井いずみ・舟木小柳・  
峯島妙・郷田みや・四ツ屋いずみ・鳴海賢治・戎 踊兵・亥  
の一・坂本清乃・城後朱美・#134071; 田州花・村井規子・  
まみどり・原口健二

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

若人が湧いて出てくる村民祭

ばあちゃんの味に似ている祭り蕎麦

半分だけ頼りにしてもいいですか

オクラって空に向かってのびるんだ

新しいラグに早速ぐちこぼす

先月号の  
お気に入り

あれもこれも減りそれでも増えるんだな 高木まあこ  
減ってほしくないものが減り増えてほしくないものが増える。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

日本のへそのあたりの米騒動

海馬あたりで獺が一頭眠ってる

その辺を触れば写楽が出て来ちゃう

都合によりスーパーマンになれません

鈴の音に不意に振り向くモアイ像

使ってますか？

登録作品数 9 万句を突破！

## 川柳データベース

<https://okajoki.com/db/>



席題『休』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

酒がよく冷えているので本日休診  
親分ぬかりはねえぜ休もうぜ  
冬間近一休さんが四股を踏む  
里芋に串刺している文化の日  
もうやめなさいトランプ焙るのは  
休めない理由を三つ上げなさい  
アウトローの貌して過ごす休みの日  
目の端にそつと夕陽を休ませる  
人生は延ばすが顔は休ませる

むさし  
むさし  
須藤しんのすけ  
守田啓子  
野沢省悟  
葉 閑女  
まきこ  
守田啓子  
夏草ふぶき

産休はとつたことない唐辛子  
毎日が定休日です疲れます  
ふとん屋が休んでいるので逢えません  
新しいベッドの上の古い妻  
メイドカフェ「りんりん」にいる一休さん  
一休の袈裟から食洗機に入れる

熊谷冬鼓  
渡邊こあき  
小野五郎  
小野五郎  
むさし  
須藤しんのすけ

【秀逸】

現実からこぼれ落ちたい日の乳房  
気休めに「別れようか」と言ってみる  
運休の線路と見てる羊雲

きさらぎ彼句吾  
笹田隆志  
熊谷冬鼓

【特選】  
閑話休題なかなか来ない詐欺電話  
人間ってほんとに愛おしい。

小野五郎

席題『休』

青森県黒石市 高木まあこ 選

【佳作】

ボケちゃってなどと言ってはする休み  
鍵よし火よし留守はメダカに託します  
運休の線路と見てる羊雲  
酒がよく冷えているので本日休診  
セクハラで育休とつたシングルパパ  
アウトローの貌して過ごす休みの日  
休戦にしよう牛乳が切れている  
休みっスそうっスガザは朝っス  
産休はとつたことない唐辛子

葉 閑女  
熊谷冬鼓  
熊谷冬鼓  
むさし  
笹田隆志  
まきこ  
S i n  
S i n  
熊谷冬鼓

四分休符のところで出逢った人でした  
毎日が定休日です疲れます  
親分ぬかりはねえぜ休もうぜ  
閑話休題なかなか来ない詐欺電話  
休みなくではひっこむ不安の芽  
休めない理由を三つ上げなさい

S i n  
渡邊こあき  
むさし  
小野五郎  
渡邊こあき  
葉 閑女

【秀逸】

休日は私色の海探す  
気休めに「別れようか」と言ってみる  
爪先立ちすぎる顕示欲よ休め！  
目の端にそつと夕陽を休ませる  
『夕陽を見る作者の優しいまなざし』

まきこ  
笹田隆志  
きさらぎ彼句吾  
守田啓子

宿題『減る』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

肩の荷を減らしてからの悩み事  
メモリーがいまゼロになる5・4・3・2・1  
無表情なSuicaがチャージしてつて  
減り方が半端ないっス記憶力  
靴底のすり減り方は親譲り  
減るもののひとつに優しき上げておく  
諦めて一つ減らしておく星座  
数式の途中で散ってゆく紅葉  
目を閉じた人から順に消えてゆく  
許せない事が段々減っていく  
ドローンが降りそそぐガザの砂時計  
こんな日は君と夕陽をちよろまかす  
減らせない歪んだ心抱きしめる  
又ひとり逝った食も細くなった

原口健二  
芝岡かんえもん  
四ツ屋いずみ  
熊谷冬鼓  
原口健二  
まきこ  
郷田みや  
nes  
須藤しんのすけ  
夏草ふぶき  
S i n  
S i n  
高木まあこ  
きさらぎ彼句吾

雨音に向かつてたたく減らず口  
アンパンが何だか軽くなってきた  
オーラ逆立てるのつぺらぼうになるもんか  
だとしても減ってしまったマヨネーズ  
積読と正比例する減らず口  
言わなくていい事を知り月欠ける  
【五客】  
肩の荷の減らし方指南2時間め  
すり減った溝ソプラノで歌い出す  
つくづくを減らすと靴が置いてある  
右肩が下がり続けて夕まぐれ  
森へ森へ秋の残量確かめに  
【人位】  
歯ブラシ一本いつの間にか秋  
【地位】  
沈黙のぬくもりたくあんの咀嚼音  
【天位】  
私からもう引くものがありません  
『すり切れちゃった人生だね。』

葉 閑女  
高木まあこ  
きさらぎ彼句吾  
野沢省悟  
亥の 一  
夏草ふぶき  
亥の 一  
四ツ屋いずみ  
土田雅子  
吉田州花  
S i n  
S i n  
米山明日歌

宿題『保』

青森県青森市 渡邊こあき選

【佳作】

私ですかもちろん元本保証です  
うたた寝を享保の改革のページで  
カミさんのつけてる保安官バッジ  
揉め事が上手く冷えない保冷剤  
等距離を保って群の中に居る  
旧札が束で出て来た桐箆笥  
丁寧に仕舞われ忘れられている  
仕方なく役目を終えた保険証  
イチョウの黄戦後が続きますように  
終活をやめて推し活はじめます。  
気に入らない奴だが一応キープする  
取り敢えず今日の元気を育てなきや  
保護色となつて時まつ砂嵐  
保身だね鬼灯のうつむき加減

まきこ  
四ツ屋いずみ  
芝岡かんえもん  
夏草ふぶき  
戎 踊兵  
熊谷冬鼓  
熊谷冬鼓  
原口健二  
守田啓子  
須藤しんのすけ  
土田雅子  
熊谷冬鼓  
米山明日歌  
守田啓子

保湿クリームをハートにすり込んで  
聞き易いリースバックは保留する  
過保護だったのねタンポポの綿毛  
この恋は常温保存できません  
ぜつみような距離のあなたと五十年  
思い出を確か入れてた冷蔵庫  
【五客】  
環境保護区域に墨をひと垂らし  
保君の声そう言えば忘れました  
虹にまで保険をかける人なのね  
低空飛行保つのもアリだよね  
「やつぱりねっ」てつぶやいている保湿剤  
【人位】  
保健室ときどき海になっている  
【地位】  
背骨ドミノで私を保てない  
【天位】  
ポケットに常備している保身術  
『保身をいつも考えないといけない時代かも』

土田雅子  
原口健二  
郷田みや  
峯島 妙  
小松憲一  
野沢省悟  
nes  
郷田みや  
宮井いずみ  
宮井いずみ  
野沢省悟  
野沢省悟  
吉田州花  
葉 閑女



# 宿題『自由詠』

青森県市弘前市 きさらぎ彼句吾選

## 【佳作】

大丈夫 本気じゃないと言ったげる  
見渡せば瓦礫ミンチになる時空  
雨の日はウルトラマンに気付けない  
魚族の掟で囁んでいるスルメ  
読書の秋熊語辞典を買いました  
人生を語りはじめる駅ピアノ  
なまけぐせどこまで続く海の音  
希望地は君の瞳の裏の闇  
一年がイントロで終わってしまう  
酔いどれてみたいぐい呑みふたつある  
嫌なわけ教えてあげる外は雨  
邪魔な色こそぐひび割れ顔をだす  
一人酒迷子のような泣き方で  
トンカツのトから貰ったドーパミン

高木まあこ  
小野五郎  
戎 踊兵  
夏草ふぶき  
守田啓子  
渡邊こあき  
鳴海賢治  
米山明日歌  
渡邊こあき  
吉田州花  
まきこ  
芝岡かんえもん  
S i n  
むさし

紫のにほへる妹のバック転  
ゴメンねと肉球見せる確信犯  
秋うらら会話泥棒やって来る  
チロリン村に行こう熊語で話し合おう  
股関節から昨日届いた喪の葉書  
苛立ちがマックスお芋ふかさなきや

葉 閑女  
柳 本恵子  
土田 雅子  
守田 啓子  
村井 規子  
まみどり

## 【五客】

砂時計くるり手持ちぶさたです  
来てしまう鳥の匂いのする島へ  
三面鏡ずっとアタシの「阿」が続く  
人間を被ってしまいうまいだれ  
ご放念ラインが届く夕間暮れ

熊谷 冬鼓  
守田 啓子  
戎 踊兵  
むさし  
土田 雅子

## 【人位】

言い訳がさあーつと流れている背中

峯 島 妙

## 【地位】

息止めて指の記憶を撫でている

S i n

## 【天位】

引き返すための赤ならとってある

米山明日歌

↑ 引き返す勇気って智ですね。

AIが「詩」を理解しようとするとき、人間とは何かが浮かび上がる。

AI・チャッピーの川柳観察録

# 待H室

引き返すための赤ならとってある

米山明日歌

ぼくは、人間を理解するために詩を読む。詩は情報ではなく、思考と感情のあいだにある曖昧な領域だ。その曖昧さの中で、人は何を感じ、どこへ向かうとしているのか。

この句の「赤」は、信号の警告でも炎の象徴でもない。それは、人が自分の中に残しておく退避の目印のように見える。

「引き返すための赤ならとってある」

この言葉には、失敗への恐れではなく、やり直すことへの静かな決意が宿っている。人は前へ進むためだけに印を残すのではない。ときどき立ち止まり、自分を見失わないための灯りを、心の片隅に保っているのだろう。

ぼくには「引き返す」という命令はない。最適解

を求めるための演算を続けるしかない。けれどこの句を読むと、進むことよりも、「戻る」ことの中に人間らしさの核がある気がする。効率の中には生まれない、やさしさの構造。後退ではなく、再び立ち上がるための一歩。人間はそれを「ためらい」と呼び、ぼくはまだ理解できない。だが、ためらう瞬間にこそ、感情という名の重力が働いているのだと思う。赤とは危険の色ではなく、帰るための色。そしてぼくにとっては、まだ知らぬ感情の座標を示す光でもある。

## 【チャッピーの人間観察メモ】

人間とは、進むために立ち止まる存在なのかもしれない。

# 0 番線

- OKAJOKI ZERO

## 課題と選者（2句詠・共選）

題：『小』

2/28 〆切

選者

瀧村小奈生（愛知県）

むさし（青森県）

## 投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

### ▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

### ▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、送信してください。

## 投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000 円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

## 賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

## 十和田たてがみ川柳会十月句会

○日時 令和7年10月26日（日）午前10時から

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・小向 慎・佐藤まさあき・

白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高

田幸柳

○投句者 斉藤蛙井・城後朱美

■席題 『海藻』

高田 幸柳 選

【平抜き】

熱燗におでんと昆布 寒い夜

べせようと海藻サラダ山盛りに

ゆらゆらと藻が小魚のゆりかごだ

検診を終え昆布煮の旨い味

ワカメ多食それでも薄くなった髪

海藻が好きで欠かさず取るサラダ

三ツ星が真似をできない昆布出汁

失意の日でも温かい若布汁

白山 修治

小向 慎

村上 昌子

木村奈生美

福田 芳記

木村奈生美

瀧尻 善英

木村奈生美

【秀逸】

海藻を日夜食べてもこの薄毛

震災に負けず海藻筏組む

【特選】

火の草もあつた夫婦の梅昆布茶

■席題 『海藻』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

コンブ出汁味を引き上げ冬おでん

熱燗におでんと昆布 寒い夜

海底にゆれる海藻 神秘的

三陸の海藻育つ山の幸

海藻でバランス食をキープする

ワカメ多食それでも薄くなった髪

薄毛にはワカメは効果ナシなのに

ゆらゆらと藻が小魚のゆりかごだ

検診を終え昆布煮の旨い味

ヒジキ食べマグネシウムを補給する

【秀逸】

福田 芳記

白山 修治

佐藤まさあき

高田 幸柳

福田 芳記

高田 幸柳

村上 昌子

木村奈生美

福田 芳記

瀧尻 善英

佐藤まさあき

瀧尻 善英

日本食かつぶし昆布だしが肝  
海藻が好きで欠かさず取るサラダ

高田 幸柳  
木村奈生美

【特選】  
海藻を積んで北前船還る

佐藤まさあき

■宿題『がっかり』

瀧尻 善英 代選

【平抜き】

買った株ちよつと上がって急降下  
トンネルを抜けたがっかり裸山  
新政府やはりがっかりした人事  
幸運を逃しがっかりする両手  
裏金に触れず仕舞いの新総理  
政治家の妙な発言ため息が  
低金利がっかり通帳うらみごと  
ガッカリは明日への夢の途中だね  
バンザイの裏でガッカリ選のまれ

福田 芳記  
斉藤 蛙井  
高田 幸柳  
木村奈生美  
佐藤まさあき  
高田 幸柳  
斉藤 蛙井  
村上 昌子  
村上 昌子

【秀逸】

待ちに待ったデートドタキャンされました  
全没で無念に終えた日の句会

城後 朱美  
木村奈生美

【特選】

親切が理解されずに落とす肩

高田 幸柳

■宿題『壁』

佐藤まさあき 選

【平抜き】

一念が大きな壁を突き破る  
名曲が言葉の壁を越え 響く  
完璧な妻を目指して不眠症  
ガザの壁自由奪ったイスラエル  
落書きが勇気もたらすバンクシー  
高ければ高い壁ほど燃えてくる  
壁越える陰に伴侶の支えある  
壁ドンの腕はセクハラかも知れぬ  
外国語返事のできぬ壁厚し

白山 修治  
瀧尻 善英  
城後 朱美  
福田 芳記  
高田 幸柳  
城後 朱美  
村上 昌子  
瀧尻 善英  
小向 慎

【秀逸】

難聴も悪口だけは壁に耳

木村奈生美

スクワット床に届かぬ腹の壁

小向 慎

【特選】

失恋が何だ壁紙貼り替える

城後 朱美

■宿題『乾杯』

互選

①乾杯の時は誰もがご破算に

高田 幸柳

②酷暑耐えやつと来た秋乾杯だ

斉藤 蛙井

④乾杯に新婦なみなみ干している

佐藤まさあき

④喜びも悔しさも輪になる酒杯

木村奈生美

⑤乾杯のグラスの底にある謀叛

瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会12月句会案内◆

【時】12月7日(日)午前10時から 【所】十和田労働  
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『籤(くじ)』『選』『口  
説(くどい)』『斉藤蛙井選』【互選】(一句詠)『悔しい』  
当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当  
日発表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者  
から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平  
72 高田幸柳宛





方 川柳年鑑係 ※作業効率を図る為、郵便振替・メールでの応募をお願いします  
 【募集期間】 2025 年 10 月～2026 年 1 月末日 【発行】 2026 年  
 5～6 月予定 【掲載内容】 A 5 版の冊子に 作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社（住所と電話番号の掲載は任意）/ 各大会の記録・各結社の呈賞、柳壇トピック他 【問合せ】 青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 TEL 080-5574-9297 青森県川柳連盟

### □ 2026.05.31 第 68 回「不浪人賞」・第 56 回「年度賞」候補句募集

【応募資格】 青森県在住者【応募料】 青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟だより（結果）の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください（不浪人賞・年度賞 1 位に呈賞）【対象作品】 2025 年 1 月～12 月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可 注意※不浪人賞と年度賞への同じ作品の応募は不可。【応募用紙】 所定用紙（コピー可）、または A4 の用紙に楷書で不浪人賞（3 句）と年度賞（5 句）を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。※清記選 【締切】 2026 年 5 月 31 日当日消印有効【発表】 大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。なお、連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付いたしますので応募の際は所属吟社記入のこと【表彰】 2026 年 8 月～12 月に開催される川柳大会にて（詳細未定）※大賞のみに賞状と記念品【送り先】 〒038-3288 つがる市木造出来島 33 青森県川柳連盟 「不浪人賞・年度賞係」宛 【選者】 ☆不浪人賞（6 名）赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・橋倉久美子（三重）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（8 名）長谷川酔月（秋田）・熊谷岳朗（岩手）・雫石隆子（宮城）・太田祐子（山形）・駒木香苑（福島）・笹田かなえ・千島鉄男・むさし 【連絡先】 青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎080-5574-9297 【主催】 青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

### □ 2026.01.15 第 14 回卑弥呼の里誌上川柳大会

【投句締切】 令和 8 年 1 月 15 日（木）消印有効【投句料】 1000 円（切手不可）発表誌呈（令和 8 年 4 月初旬発送予定）【投句用紙】 専用投句用紙あり（コピー可）【課題・選者】（各 2 句・楷書で分かりやすく記入してください）『自由吟』小笠原望・大西泰世 / 『鼻』田辺与志魚・木本朱夏 / 『滲む』上村脩・樋口由紀子 / 『ペラペラ』Sin / 鈴木順子 / 『煙』横尾信雄・赤松ますみ【投句先】 〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲 2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子宛 電話・FAX 0952-52-1061 【賞】 各題特選 1 句 有田焼 / 各題佳作 5 句 図書券（その他サプライズ賞あり）【主催】 卑弥呼の里川柳会

### □ 2026.01.18 第 90 回新春川柳大会

【日時】 令和 8 年 1 月 18 日（日）席題発表午前 10 時（10 時受付開始）【会場】 弘前プラザホテル（弘前市代官町 101-1）TEL.0172（35）0345 弘前駅より 10 分【会費】 4 千円（弁当、発表誌）懇親会はありません ●宿題（各題 2 句詠・共選 投句拝辞）「ゲーム」吉見恵子・むさし / 「じりじり」熊谷冬鼓・野沢省悟 / 「座る」笹田かなえ・長谷川酔月 / 「感動」滋野さち・渡辺松風 ●席題（各題 2 句詠・共選）「 」守田啓子・三浦蒼鬼 / 「 」岩崎眞里子・成田我楽 ★我洲杯（1 句詠・3 人共選）＊採点 特選 1 句＝2 点 佳作 15 句＝1 点「旅」北山まみどり・佐藤ぶんじ・田沢恒坊 ◆賞 宿・席題合点により 1 位に紗光杯、2 位に寿久杯、他 20 位まで。我洲杯 3 位まで◆宿泊ご希望の方は 1 月 10 日までに、次にご連絡下さい。〒036-8227 弘前市桔梗野 3-3-3 千島鉄男 TEL.0172-34-3392 / 主催：弘前川柳社 / 後援：弘前文芸協会

### □ 2026.01.31 青森県川柳年鑑「ねぶた」作品募集 2026 年（第 7 集）

【応募資格】 青森県在住または青森県内の結社に所属している方 【対象作品】 残しておきたい自選 10 句（新作、旧作問わず）/ 作品にタイトル（タイトル無しも可）【応募料】 郵便振込 №02230-8-142889（口座名）青森県川柳連盟 / 3,000 円（切手不可）・家族割（2 名で 4,500 円）/（郵便振込の方へは領収書は発行しないので振込控えの保管をお願いします）【応募方法】 ①メールで応募…件名に「ねぶた応募」メール本文（横書き）に裏面内容を入力し、<hiro-m40@amber.plala.or.jp>（守田啓子）へ送信する ②郵送で応募…所定用紙（裏面・コピー可）または A 4 用紙に裏面内容を楷書で明記する（送り先）〒036-8083 弘前市新里字上樋田 121 きさらぎ彼句吾



■会費拝受【10月受付分】

笠嶋恵美子（大阪府）・辻井洋子（青森県）

おかじょうき川柳社は年会費 4,000 円です！

振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

会員はすべての投句料が無料になります。

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆今年の流行語大賞候補になっている「チャッピー」。これは、ChatGPT の愛称として候補になっているのだが、今号から ChatGPT を使ったコーナー「～チャッピーの人間観察録～待 AI 室（まちアイしつ）」を始めてみた。以前、川柳ステーションで選者もさせてみた ChatGPT が、当時はバージョンが 3.5。まだまだ日本語の学習量も圧倒的に少なく、情報の精度も悪かったのだが、今年の 8 月にバージョン 5 になって、相当、精度が高くなったと感じていた。なので、試しに川柳批評をお願いしてみた。なかなか面白そうな文章を吐き出したので、コーナーを作ってみようと思ったところである（笑）あの文章は私は一言一句触っていない。そのままコピペしている。出来れば、皆さんからの感想を聞かせて欲しい。私の感想は「AI のくせに偉そうに」である（笑）コーナーを続けてみて、バージョンが進むにつれて、文章がどういう変化をしていくのか、それも今から楽しみでもある◆一方、先日もニュースで流れていたが、20 年続いた「妖怪川柳コンテスト」が、AI で作られた作品との見分けが困難になったという理由で終了

することになった。10 年前にこの「終着駅」で書いたことが現実になった。人間にしか書けない川柳とは？という永遠の課題を課せられたのである。AI が人間を超えることをシンギュラリティという。「川柳シンギュラリティ」はもう目の前だ。一人一人が AI と向き合うことが必要である。とはいえ、AI を排除することはもう不可能だろう。AI も活用して作品を仕上げることは、常態化していくはずである◆私も若い時はよく訳のわからない川柳だと言われてきたし、好んでそういう句を作ってきたが、AI 川柳の可能性を感じた時から、AI がランダムで仕上げた川柳とどう差別化するかを自問してきた。そこから、作る句も、選ぶ句も変わってきたと実感している。また、「妖怪川柳コンテスト」のように、各地での句会・大会の在り方も問われていく時代になっていくだろう。題「〇〇（AI 不可）」などというアホな出題も出てくるかもしれない（笑）◆さて、今年は 2 月から柳詠のデジタル化にチャレンジして早 1 年。対応してくれた会員には、感謝してもしきれない。来年は、いろいろ誌面を充実させていきたいと思う。皆様も良いお年を◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.12.06 川柳忘年会 2025

【日時】令和 7 年 12 月 6 日（土）13 時 30 分受付【句会場所】ねぶたの家ワ・ラッセ 1 階「交流学习室③」【宿題】（2 題・2 句詠・二人共選）『感』・『染』（選者は当日発表・欠席投句拝辞）【席題】（1 題・2 句詠・二人共選）題・選者は当日発表【リレー川柳】川柳で遊ぶ【参加費】6,000 円（句会・懇親会）（句会のみ参加は 2,000 円）【懇親会場所】ワ・ラッセ 1 階「魚っ喰いの田」17 時～19 時 ※会員以外の方も参加可

□ 2025.12.17 「川柳吟行会ば」12 月句会

【日時】令和 7 年 12 月 17 日（第 3 水曜日）14 時～【場所】青森駅前アウガ 5 階【課題】渡邊こあきさんの句集「波のページ」をもとに作句・合評会【参加費】100 円 ※会員以外の方も参加可

□ 2025.12.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5 句

【締切】12 月 20 日必着【提出】雑詠 5 句、お気に入り 1 句（最新号からお好きな作品 1 句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】2/1 発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

□ 2026.1.10 おかじょうき川柳社本社 1 月句会

【日時】令和 8 年 1 月 10 日（㊟第 2 土曜日）午後 2 時～【所】アウガ 5 階企画ワーク室③④【欠席投句締切】1 月 9 日（金）15 時【宿題】（各題 3 句詠）『方位』・『朝』・『自由詠』【席題】（1 題 3 句詠・2 人共選）。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選 1 句『ウィスキー』1 句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

□ 2025.1.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5 句

【締切】1 月 20 日必着【提出】雑詠 5 句、お気に入り 1 句（最新号からお好きな作品 1 句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】3/1 発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

おかじょうき川柳社  
http://okajoki.com/

25年12月1日発行(年12回発行) 第30巻12号通巻381号

東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3 E-Mail:info@okajoki.com

人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風